【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【公開番号】特開2010-76511(P2010-76511A)
【公開日】平成22年4月8日(2010.4.8)
【年通号数】公開・登録公報2010-014
【出願番号】特願2008-244676(P2008-244676)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｋ　19/38　(2006.01)
Ｂ６２Ｋ　11/00　(2006.01)
Ｂ６２Ｊ　37/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｋ　19/38
Ｂ６２Ｋ　11/00　Ｚ
Ｂ６２Ｊ　37/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成23年3月16日(2011.3.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
乗員が着座するシートと、
前記シートの下方に配置され、ＡＢＳをコントロールするＡＢＳモジュレータと、
ブレーキの制動力を前後輪に配分する第１制御バルブと、
燃料蒸発ガスを吸気系へ導入する第２制御バルブと、を備える自動二輪車において、
車体フレーム側に固定され、前記第２制御バルブが取り付けられる第１ブラケットと、
前記第１ブラケットに支持されると共に前記車体フレームに固定され、前記ＡＢＳモジュレータと前記第１制御バルブが取り付けられる第２ブラケットと、を備えることを特徴とする自動二輪車。
【請求項２】
前記第２ブラケットは、前記車体フレーム側に複数点で支持されており、
前記第２ブラケットの車幅方向内側の少なくとも１点は、前記第１ブラケットに装着支持され、
前記第２ブラケットの車幅方向外側の少なくとも他の１点は、前記車体フレームにボルトで締結支持されることを特徴とする請求項１に記載の自動二輪車。
【請求項３】
前記ＡＢＳモジュレータは、前記車体フレームに囲まれた空間に配置されることを特徴とする請求項１又は２に記載の自動二輪車。
【請求項４】
前記車体フレームの側部を覆うサイドカバーを備え、
前記ＡＢＳモジュレータは、車幅方向一側に配置されると共に、前記サイドカバーの車幅方向内側に配置されることを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の自動二輪車。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するために、請求項１に記載の発明は、乗員が着座するシートと、シートの下方に配置され、ＡＢＳをコントロールするＡＢＳモジュレータと、ブレーキの制動力を前後輪に配分する第１制御バルブと、燃料蒸発ガスを吸気系へ導入する第２制御バルブと、を備える自動二輪車において、車体フレーム側に固定され、第２制御バルブが取り付けられる第１ブラケットと、第１ブラケットに支持されると共に車体フレームに固定され、ＡＢＳモジュレータと第１制御バルブが取り付けられる第２ブラケットと、を備えることを特徴とする自動二輪車。なお、車体フレームに固定するとは、車体フレームに直接固定することの他に、別体の取付ステーや部品等の車体フレームに取り付けられる別部材に固定することにより、間接的に車体フレームに固定することを含む。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の発明の構成に加えて、第２ブラケットは、車体フレーム側に複数点で支持されており、第２ブラケットの車幅方向内側の少なくとも１点は、第１ブラケットに装着支持され、第２ブラケットの車幅方向外側の少なくとも他の１点は、車体フレームにボルトで締結支持されることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
また、本実施形態では、図２及び図５に示すように、取付ステー８２の外側面に、燃料蒸発ガスをキャニスタから取り出して吸気系へ導入する第２制御バルブであるパージコントロールソレノイドバルブ８９（以下、単に「ＰＣＳＶ８９」と省略する）が２本のボルト１１１により締結される。なお、ボルト１１１は、取付ステー８２の内側面に固定されるウェルドナット８２ａに左側方から螺着される。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
そして、ＰＣＳＶ８９が取り付けられた第１ブラケット８０は、図３及び図５に示すように、車体フレーム２０の第４クロスメンバ３４に溶着され後方に延びる第１支持ステー１０１の下面に２本のボルト１１２により締結される。なお、ボルト１１２は、平板部８１の下面に固定されるウェルドナット８１ａに上方から螺着される。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
また、本実施形態では、図２～図５に示すように、取付ステー９３の外側面に、ＡＢＳ

７０の一部を構成し、フロントブレーキ装置６０及びリヤブレーキ装置６５への油圧を配分する第１制御バルブであるプロポーショナルコントロールバルブ９９（以下、単に「ＰＣＶ９９」と省略する）が２本のボルト１１４により締結される。なお、ボルト１１４は、取付ステー９３の内側面に固定されるウェルドナット９３ａに後方から螺着される。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
また、第２ブラケット９０は、その外側支持片９５の嵌合穴９５ａに取り付けられるゴムブッシュ９５ｂ及びカラー９５ｃを、車体フレーム２０のピボットプレート２８の内側に溶着され上方に延びる第２支持ステー１０２の外側面にボルト１１５により締結させることによって、第２支持ステー１０２に締結支持される。なお、ボルト１１５は、第２支持ステー１０２の内側面に固定されるウェルドナット１０２ａに右側方から螺着される。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
さらに、第２ブラケット９０は、その外側支持片９６の嵌合穴９６ａに取り付けられるゴムブッシュ９６ｂ及びカラー９６ｃを、車体フレーム２０の右側のリヤパイプ２７の内側に溶着され前方に延びる第３支持ステー１０３の外側面にボルト１１６により締結させることによって、第３支持ステー１０３に締結支持される。なお、ボルト１１６は、第３支持ステー１０３の内側面に固定されるウェルドナット１０３ａに右側方から螺着される。